

## 研究課題名

血液腫瘍とバンコマイシンの過大腎排泄 Augmented renal clearance(ARC)の関連性  
Hematological malignancy is risk factor of augmented renal clearance of vancomycin  
に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2010年7月から2017年7月までの間に当院にて抗生剤のバンコマイシンを使用し血中濃度を測定した方

### 2. 研究目的・方法

#### 【目的】

過大腎排泄(ARC)は、腎機能正常者に比べて高い腎排泄能をもった状態であり、過去の報告で敗血症、頭部手術、若年者等において時にみられることが報告されています。血液腫瘍患者でバンコマイシンの血中濃度が低い症例においても ARC の可能性が考えられますが、血液腫瘍がこの現象のリスクとなるか、また ARC が発生している場合のバンコマイシンの投与量が明らかとなっていません。今回の研究は、血液腫瘍と ARC の関連性及びバンコマイシンの至適投与量を算出する事を目的としています。

#### 【方法】

2010年7月から2017年7月までの間に当院にて抗生剤のバンコマイシンを使用し血中濃度を測定した方の年齢、体重、腎機能、疾患の種類、性別、アルブミン値、敗血症の有無、バンコマイシンの血中濃度、頭部手術の有無等について電子カルテを用いて過去の情報を調査します。

研究のために検査や質問を追加するなど、患者さんの負担になるようなことは行いません。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報：年齢、体重、腎機能、疾患の種類、性別、アルブミン値、敗血症の有無、バンコマイシンの血中濃度、頭部手術の有無等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

しかしながら解析終了後または学会・論文での発表後には、データを削除できないことがあります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 薬剤師 西野真司

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-741-2111（内線 5333）

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院薬剤部 山田清文